

アルビクス・映像／音声エラー検出装置 VAD-311

REV1.0

特 長

- ◇HD/SD-SDI 映像・音声信号(エンベデッドオーディオ8Ch)のエラーを検知します。
- ◇映像・音声のエラーが指定された時間以上連続した場合、その状態を LAN I/F にてパソコン等へ通知します。

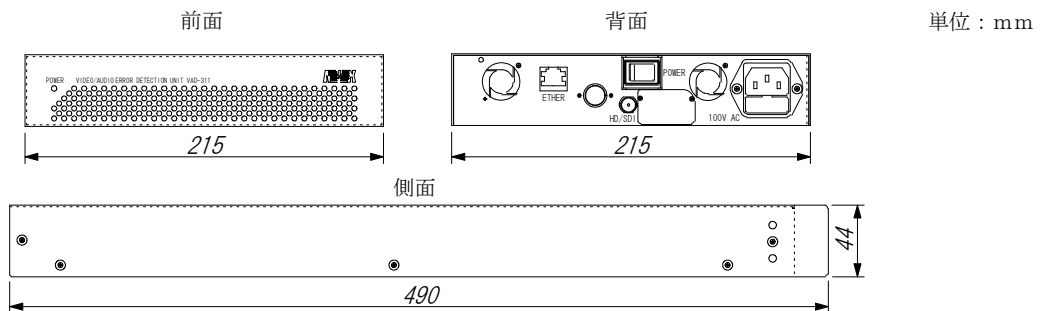
仕 様

- ◆入力信号
 - 入力信号数系統 : 1系統
 - 信号形式 : 映像 : SD-SDI SMPTE259M-C 480i[D1]
HD-SDI SMPTE292M 1080i
 - : 音声 : エンベデッドオーディオ
48KHz 16bit 4ch(SD-SDI時) / 48KHz 16bit 8ch(HD-SDI時)
 - 入力接栓 : BNCコネクタ
- ◆外部通知信号
 - 通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
 - プロトコル : SNMP
 - コネクタ : RJ-45モジュラ
- ◆外形寸法 : W215 × H44 × D490 (1U ハーフサイズ)
- ◆重量 : 約 3 kg
- ◆電源電圧 : 100V±10% AC 50/60Hz
- ◆消費電力 : 約 25 W
- ◆使用温度 : 5°C ~ 40°C

機 能

- ◇各エラー項目は、エラー状態を通知するまでのマスク時間をソフトウェアによって個別に指定することができます。
- ◆エラー検知項目
 - 同期断エラー : 映像信号が無い状態が指定数秒以上連続した場合にエラーを通知します。
 - ブラックアウトエラー : 映像がブラックアウトした状態が指定数秒以上連続した場合にエラーを通知します。
 - フリーズエラー : 映像がフリーズした状態が指定数秒以上連続した場合にエラーを通知します。
 - 輝度レベルエラー : 映像の輝度レベル異常が指定数秒以上連続した場合にエラーを通知します。
 - 色差レベルエラー : 映像の色差レベル異常が指定数秒以上連続した場合にエラーを通知します。
 - VITC エラー : 入力信号の VITC を読み取り、その連続性を監視します。
(ドロップフレーム方式であるなしに関わらず検知)
 - 音声レベルエラー : オーディオ信号のピーク値を測定し、レベル異常の状態が指定数秒以上連続した場合にエラーを通知します。
エラー検知設定項目: レベル LOWER(-50dB~0dB)、レベル UPPER(-50dB~0dB)
 - 無音エラー : オーディオ信号のピーク値を設定し、無音の状態が指定数秒以上連続した場合にエラーを通知します。(無音の定義/VAD-310/311: -40dB)
 - 逆相エラー : オーディオ信号の逆相状態が指定数秒以上連続した場合にエラーを通知します。
※Ch1-2間、Ch3-4間、Ch5-6間、Ch7-8間を監視します。
 - 1KHz : オーディオ信号が1KHzの状態が指定数秒以上連続した場合にエラーを通知します。
※Ch1、Ch2を監視します。

外 観 図



仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります

【型番】 VAD-311	アルビクス株式会社	【整理番号】
-----------------	-----------	--------